

西米良村告示第37号

令和2年第2回西米良村議会臨時会を次のとおり招集する。

令和2年7月10日

西米良村長 黒木 定藏

1 期 日 令和2年7月16日（木）

2 場 所 西米良村役場議場

○開会日に応招した議員

黒木 竜二君

児玉 義和君

白石 幸喜君

上米良 玲君

濱砂 征夫君

上米良秀俊君

濱砂 恒光君

○7月16日に応招した議員

同 上

○応招しなかった議員

令和2年 第2回 (臨時) 西米良村 議会 会議 録 (第1日)

令和2年7月16日 (木曜日)

議事日程 (第1号)

令和2年7月16日 午前9時30分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定について

日程第3 議案第38号 令和2年度西米良村一般会計補正予算 (第4号)

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定について

日程第3 議案第38号 令和2年度西米良村一般会計補正予算 (第4号)

出席議員 (7名)

1番 黒木 竜二君	2番 児玉 義和君
3番 白石 幸喜君	4番 上米良 玲君
5番 瀨砂 征夫君	6番 上米良秀俊君
7番 瀨砂 恒光君	

欠席議員 (なし)

欠 員 (1名)

8番

事務局出席職員職氏名

事務局長 土持 光浩君 書記 前田 里菜君

説明のため出席した者の職氏名

村長	黒木 定藏君	副村長	梅本 昌成君
教育長	古川 信夫君	総務課長	牧 幸洋君
むら創生課長	土居 博和君	会計管理者	田爪 健二君
福祉健康課長	吉丸 和弘君	村民課長	渡邊 智紀君
建設課長	上米良 敦君	農林振興課長	濱砂 亨君
教育総務課長	山田 高大君	診療所事務長	濱砂 雅彦君

午前9時30分開会

○事務局長（土持 光浩君） 一同、ご起立ください。一同礼、ご着席ください。

○議長（濱砂 恒光君） ただ今の出席議員は7名です。定足数に達していますので、ただ今から、令和2年第2回西米良村議会臨時会を開会します。これから、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

ただちに議事に入ります。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（濱砂 恒光君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第122条の規定により、4番、上米良 玲君、5番、濱砂 征夫君を指名します。

日程第2. 会期の決定について

○議長（濱砂 恒光君） 日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日の1日間にしたいと思いますが、決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 恒光君） 異議なしと認めます。

従って、会期は本日の1日間と決定しました。

なお、本日の日程は、お手元の議事日程第1号のとおりでありますので、ご了承ください。

日程第3. 議案第38号

○議長（濱砂 恒光君） 日程第3 議案第38号、令和2年度西米良村一般会計補正予算（第4号）を議題とします。提出者の説明を求めます。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） ただ今上程いただきました、議案第38号、令和2年度西米良村一般会計補正予算（第4号）につきまして提案理由の説明を申し上げます。

まず、冒頭にご報告申し上げます。今般の令和2年7月豪雨に係る大雨等によりまして、村内各地で災害が発生をいたしました。早急な現状回復に向けた仮工事等に努め、なんとか生活環境の維持、確保に努めているところでございます。さらに、私どもの生活圈域でもあります球磨郡、それから人吉市、球磨村などに甚大な被害が発生したことは、ご承知のとおりでございます。この度の災害によりましてお亡くなりになりました方々に対しまして、お悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様方、そして現在も避難生活を続けておられる皆様方に、心よりお見舞いを申し上げる次第でございます。また、このような中、村内道路等の復旧や避難所の支援に多大なるご協力をいただいております、国、県をはじめとする行政機関、村内の建設業者、ボランティアの方々、さらには災害見舞金をいただきました方々やら、ご来村いただき激励をいただきました多くの皆様方に、心からの感謝を申し上げる次第であります。

今回の補正につきましては、その大雨災害への対応やコロナ禍にある今後の感染の防止、災害避難対策など緊急を要するものについて計上させていただいたところでございます。その補正の内容について、ご説明を申し上げます。

補正総額といたしまして、1億3,205万7,000円を計上いたしまして、補正後の歳入歳出ともに28億7,422万8,000円とするものでございます。

主な歳入について申し上げます。

国庫補助金 8,982万7,000円の増額につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金でございます。今後進めることとなります交付金の申請に基づき、新型コロナウイルス感染症対策関連の事業財源の一部として充当させていただくものであります。基金繰入金 4,223万円の増額につきましては、交付金以外の歳出予算の財源として、財政調整基金から所要額を繰り入れをさせていただきたいと思っております。

次に主な歳出について申し上げます。

総務費 410万6,000円の増額につきましては、大雨による村内光ケーブルの断線の補修と、新型コロナウイルス感染症対策として必要性が高まっているWEB会議に対応するための市内のネットワーク構築の経費でございます。

衛生費 643万1,000円の増額は、大雨により所有施設に被害を受けた集落水道組合や個人の災害復旧に対する補助金や新型コロナウイルス感染症対応の一環として、診療所等に体温検知器カメラを整備し、感染症対策を強化するというものでございます。

農林水産業費 3,191万7,000円の増額は、大雨に伴うゆず加工施設の浄化槽流失の復旧に係る経費のほか、コロナ禍におけるマイナスの経済影響が予想される村内ゆず産業の体制強化として、加工生産ラインの効率化を図るための事業の経費を計上いたしましたところであります。土木費 500万円の増額は、大雨による村営住宅の雨漏りの修理経費などでございます。次に消防費 5,539万3,000円の増額は、大雨により特に大きな被害を受けた八重地区の避難所運営に関する緊急対応や今後の避難の長期化に向けた仮住宅の整備、コロナ禍における今後の災害避難に対応するための諸整備の経費を計上いたしました。教育費 275万円の増額は、新型コロナウイルス感染症対応の一環として、小中学校に体温検知器カメラを整備し、感染症対策を強化してまいります。災害復旧費 2,646万円の増額は、農林業用施設災害や公共土木施設の災害等の調査・設計や被害の緊急対応に係る経費を計上いたしました。なお、この後これらの結果を受けて本格復旧に向けては、また、甚大な経費の計上をしなければならんというふうに思っております。村民の皆様におかれましては、続いております雨等によりまして、大変不安な日々を送っておられることと存じますが、今

後とも緊急な対処も含め、適時適切に対応してまいりたいと思っております。村議会におかれましても、引き続きご理解のうえご協力を賜りたいとお願いも申し上げますところでございます。

以上、提案理由のご説明を申し上げましたが、詳細につきましては、ご質疑に応じまして、担当課長をして説明いたさせますので、よろしくご審議の上、可決賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明といたします。

○議長（濱砂 恒光君） 提出者の説明が終わりました。これから質疑を行います。議案第38号について質疑はありませんか。

○議員（4番 上米良 玲君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 4番、上米良 玲君。

○議員（4番 上米良 玲君） 消防費の中の工事請負費、避難者用住宅ということで4,800万円ほど上がっておりますが、これは大変いいことだと私も思っております。実際に避難される方がですね、避難後に自宅がもし住めなくなった場合にですね、仮に住む住宅も不足しておりますので、早急にですね、対応していただきたいと思っておる事案でございましたので、このことについて、質問させていただきます。今回この住宅の経費が上がっておりますが、場所とかですね、どのような構造になっているとかを説明をお願いしたいと思います。

○総務課長（牧 幸洋君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） それでは、玲議員の質問にお答えしたいというふうに思います。今回の計画をしております避難者の住宅につきましては、場所は松之本の集落の場所ですね、住宅等が並んでおる一番川手側のスペース、一番奥側に少しスペースがございます、そちらに設置をするということになっております。今回、木造のですね、パレット工法というちょっと特殊な工法の建物ではございますけども、こちらが速やかな作業の工法ということで、計画としては2棟4戸の整備を計画しているところでございます。以上です。

○議員（4番 上米良 玲君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 4番、上米良 玲君。

○議員（4番 上米良 玲君） 完成的にはいつ位の目途を考えていらっしやるんでし
ょうか。

○総務課長（牧 幸洋君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） 工期につきましては、作業体制にもよるのですが、1
棟作るのに1か月半程度かかるということのようでございます。2棟作りますので、
それを順番に作っていくということになると、1か月半、1か月半で3か月程度とい
うことになるかと思いますが、一斉に作業体制が整いまして、一斉に取り掛かれれば
2か月弱位で完成できるのではないかというふうに考えております。以上です。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 今回初めての試みで、普通の建築というよりも、パレット会
社が県内にありまして、木材でパレット、荷を積んだりするパレットですが、あれの
形のやつで、組み合わせ型でできるということで、試験的に今回それでやろうと。だ
から金額的にも1棟が1,000万円ちょっとということになっておるわけでありま
す。2棟と言いましたが、1棟に2軒作って、4軒は入ると。特にあのこれからコ
ロナ禍を含めまして、災害時に松之本住宅に避難していただくということが、今後も
発生する可能性は極めて今のところ高いと我々見ております。従いましてあそこで過
密になるということもありまして、家族単位で入れる方4組位入ると、松之本の避
難所も疎になってくるということ等を含めまして、そのような対策をさせていただ
いたところであります。以上です。

○議員（4番 上米良 玲君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 4番、上米良 玲君。

○議員（4番 上米良 玲君） 使用については、緊急時のその時のみということで解
釈してもよろしいのでしょうか。

○総務課長（牧 幸洋君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） 現在、松之本のですね、集会施設での避難からですね、長

期の避難を要する方につきましては、村のほうで準備しております村営住宅、県営の
共済住宅そういったものにですね、一旦移動していただきまして、その避難所住宅の
ですね、整備までに備えていただくというようなことになっております。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 今回避難住宅に合わせまして、今後の住宅の計画をしっかり
しなけりゃならんと思っております。避難所住宅から村営住宅とか、その他の住宅に
移行するための受け皿が、今のところ足りないという現状でありますから、前々から
申しておりますように、こども園が発足しましたら、その跡地等を利用して村内の住
宅環境をさらに整備するというこも、これに合わせておかないと、避難住宅が有効
に機能しないというふうに思いますので、それらも含めまして今後の対処をしていき
たいと思っております。以上。

○議員（4番 上米良 玲君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 4番、上米良 玲君。

○議員（4番 上米良 玲君） 村内の住宅もですね、結構年数も経っておりますので、
早急な計画を立てていただいてですね、ニーズに合ったような住宅の供給をお願いし
たいと思います。終わります。

○議員（3番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 3番、白石 幸喜君。

○議員（3番 白石 幸喜君） それでは担当課長にお伺いしたいと思いますが、今回
は本当に新型コロナウイルス感染症の発生もありまして、災害における避難の対応等、
職員の方も大変ご苦労されたと思います。一部避難所につきましては、日勤、夜勤、
職員の方が詰めていただいたということで、避難者の方には本当に手厚い対応をして
いただいたということで、感謝を申し上げたいというふうに存じますが、今の現在の
避難の状況を教えていただきたいということと、新型コロナウイルス感染症対策も大
変だったと思いますが、避難所の中の対応で何か課題等が現段階であれば教えていた
だきたいというふうに思います。

○総務課長（牧 幸洋君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 総務課長。

○総務課長（牧 幸洋君） それでは3番議員のご質問にお答えしたいと思います。
避難の状況につきましては、現在、松之本集会施設のほうに2世帯、3名の方がまだ使用されております。また、一旦の移動場所ということですね、双子キャンプ場のコテージ、そちらに3棟お借りをしてしておりますが、そちらのほうに3世帯の方ですね、入っていただいたということになっております。こちらにつきましても先ほど申し上げましたように、随時村のほうで準備した次の住宅等への手続き等を今進めている段階でございます。また、新型コロナウイルス感染症対策関係のですね、対応としましては、今回の避難につきましては、以前からも災害避難所に対する新型コロナウイルス感染症対策というのは色んなところで話題になっているところなんですけども、消防団であったり、配置された職員からですね、マスクの着用等をお願いするように伝えておったところでございます。また、体温計の設置、そしてマスク等の設置をさせていただいたということになります。今回につきましては、限られた集落でというようなことになるとは思いますけども、全村的にそういった避難が必要になってきたというときの混乱とかですね、そういったときにも落ち着いて対応できるように、そういった体制を整えないといけませんし、後ほど予算のほうでも計上させていただいておりますように、全施設でのそういった体温計の整備とか、そういったもの、もしくは住宅にも関係がございますが、もし発熱があった場合の隔離をする体制、そういったところについてもですね、今回の予算にも計上しているところですけども、一部パネルというかですね、個人スペースを確保できるようなものを整備して対応してまいりたいというふうに思っているところです、以上です。

○議員（3番 白石 幸喜君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 3番、白石 幸喜君。

○議員（3番 白石 幸喜君） 了解をいたしました。今後また台風等も発生しますし、来るかもしれませんし、豪雨等もあります。しっかりと今回を活かしていただいて、対応に活かしていただきたいと思いますが、私も消防団に入っております。消防団も動いておりますが、やはり人数に限りがありますし、また、多くの避難者が出ることになると、人手が足りないというふうな状況も出てまいりますので、役場職員の

方はもちろんであります、以前からあります自主防災組織、そういったものもしっかり検討し、活用していくことが必要だというふうに住じます。さらに、これらについての対応の強化ということをお願い申し上げまして、質問を終わります。

○議員（6番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 6番、上米良 秀俊君。

○議員（6番 上米良 秀俊君） それでは担当課長にお伺いいたしますが、農林水産業費で山村振興費、工事請負費が2,581万7,000円、説明については、ゆず加工処理施設設備改修事業がありますけども、これについての内容をお聞きしたいと思いますし、またこの関連といたしまして、このゆず加工所の浄化槽の復旧は、どのような被害があったのか、それと備品購入の610万円についての内容をお聞きしたいと思います。あと一つ、飲料水施設費の200万円が上がっておりますけども、これについても説明をお願いしたいと思います。

○農林振興課長（濱砂 亨君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 亨君） ただ今のご質問にお答えしたいと思います。まず、ゆず処理加工所の設備の改修工事、それから設備の整備事業についてでございますが、昨年度、ゆず処理加工につきましても、労働力の確保ができずにゆずが停滞してしまったというような事態がですね、顕在化したところでございまして、その問題に対してですね、設備の改修それから労働力の確保について検討してまいりました。そのような中ですが、ご存じのように新型コロナウイルス感染症の拡大が広がりまして、ゆず加工品の需要につきましても大幅に減少しております。現在としましては、一部青ゆず胡椒の加工品が一部需要を取り戻しておりますが、まだ依然として厳しい状態にあります。本村のゆずの生産につきましても、約92%位が加工ゆずとして出荷されておまして、ご承知のとおりその全量を本村のゆず処理加工所のほうでですね、処理をさせていただいているところであります。そのような現状でございますので、ここで、このままの状態が続きますとゆずの生産体制にも多大な影響が表れて、ゆずの生産地としてですね、維持していくことも困難になるというふうなことが予想されているところでございますが、今年度早速、今年度の加工ゆずの受け入れ地に、これら

の問題に対応していくためにですね、今回予算を計上させていただいたところでございます。具体的にですが、青ゆず加工につきましては、これまで1人1台で稼働させておりました皮むき機につきましては、1人で3台を稼働できるような改修を計画しております。これによりまして大幅な処理加工が期待できますし、また、設備が常時フル稼働するということでゆずの滞留、これにも大きな効果を表すのじゃないかというふうに考えております。合わせまして、現在ニーズの高まっております青ゆずのゆず胡椒、また、皮のペースト等の生産量の増強にも努めていきたいというふうに思っております。黄ゆずの加工ラインにつきましてはですが、今回の整備につきましては、加工に伴います廃棄物を自動で運搬するベルトコンベヤーの整備を、追加して整備するという計画にしております。果汁につきましては、これまでも輸出等受けまして、生産を続けてきた訳ですけども、アフターコロナを見据えまして、輸出が再開された時には、輸出向けの冷凍果汁の出荷につきましても、積極的に取り組んでいきたいということで、ベルトコンベヤーの設置、それからプレハブ保冷庫の設置を考えております。これによりまして、黄ゆずの生産ラインにつきましては、1人から1.5人の省力化によります生産分野への労働力の転換が見込め、また、合わせて施設の衛生管理の向上、冷凍果汁の出荷体制の拡充が図られるというふうに考えております。なお、これらの事業につきましては、地方創生臨時交付金を充てるような計画をしているところでございます。なお、工事請負費と備品の内訳ですけども、青ゆずの皮むき機の改修工事、それから、黄ゆず加工ラインの改修、ベルトコンベヤーの設置ですけども、こちら工事請負費としまして2,281万7,000円、攪拌機それからプレハブ保冷庫の整備につきましては610万円ということで計画をしているところでございます。ゆず処理加工場につきましては、以上でございます。

続きまして、ゆず処理加工場の今回の大雨災害によります浄化槽の被災状況につきましてですが、川際に設置しておりました浄化槽についてですね、今回の災害によりまして、全て流され、流失しております。しかしながら、もう8月から9月には加工の作業が始まるということで、早急に浄化槽を復旧していきたいと考えております。現在の計画では、流失していない村道側の敷地のほうに再度浄化槽を整備しまして、対応していきたいというふうに考えているところでございます。以上でございます。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） 補足説明をいたします。ただ今の説明のとおりであります、もし新型コロナウイルス感染症対策の地方創生交付金が採択にならなくても、これについては改良をさせていただきたい。そのときは村単ということになりますが、そういうことで、お諮りをさせていただきたいと存じます。

○建設課長（上米良 敦君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 建設課長。

○建設課長（上米良 敦君） 先ほど6番議員のほうからご質問のありました、一般家庭飲料水施設整備補助金についてでございます。こちらについては、今回の7月豪雨で上米良地区の水道施設、八重地区の水道施設が被災を受けておりまして、復旧に対します補助金として、今回計上しております。以上です。

○議員（6番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 6番、上米良 秀俊君。

○議員（6番 上米良 秀俊君） 了解いたしました。ただ、ゆず処理加工施設につきましては、毎年年末になって黄ゆずがちょっと腐れたとか、いろいろ話も聞きますし、ちょっと単価も下がってきたというような話もよく聞きます。これによってその部分も解消されるのかどうかをお聞きしたいと思います。

○農林振興課長（濱砂 亨君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 農林振興課長。

○農林振興課長（濱砂 亨君） ただ今のご質問ですが、当然省力化が図れまして、しかも、なるべく滞留時間を短く、日産の生産量を上げることを目標にしておりますので、これまでのような、特に昨年度のような状態は起こらないようにしたいと考えております。また、単価につきましては、下がっている訳ではないんですけども、ずっと現状をキープしているというような状況ですね、確かに生産者の方々の生産意欲の向上を高めるためには、取引単価のアップも今後見込めていければと思っています。今回の改修によりまして、コストの削減も合わせて図りながら、なるべく生産者にお金が戻るような仕組みにも取り組んでいきたいというふうに考えております。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） ただ今の追加説明をいたします。腐敗果の発生原因は、滞果が長いということが原因なんです。しかし、滞果が長い原因の前に腐敗防止対策をしているかとしていないかは全然違うということでもあります。残念ですが、中には腐敗防止対策をされていないところがありまして、そういうものについてはほしい3日から1週間で腐敗が発生するということがございますから、機械装置が早くなっても、そこらがしていないとダメですから、両方をやっぱり我々は指導をしっかりとっていくということにさせていただきたいと存じます。

○議員（6番 上米良 秀俊君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 6番、上米良 秀俊君。

○議員（6番 上米良 秀俊君） はい、了解しました。

○議員（1番 黒木 竜二君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 1番、黒木 竜二君。

○議員（1番 黒木 竜二君） 災害復旧費については、早急な対応をしていただき、本当にありがとうございます。この度梅雨前線による八重地区災害においては、早急な対応をしていただきました。4日早朝から豪雨により防災対策本部、また、昼夜問わず雨の中、危険と隣り合わせで道路の復旧をしていただいた土木作業の方々、孤立状態の折りには、食品、物資を調達していただいたり、避難施設に対する対策も早急に講じていただきました。感謝しております。行政は、住民のお世話係とも言われますが、困ったとき優しくにお世話をさせていただくことが、どれだけありがたいかを痛感しております。また、7、8月、9月、この3か月は非常に、もし仮に村所地区が浸かったらどうなるか、こういうことを常に考えながら一人一人の住民が防災対策に励んでもらいたいと考えております。思ったことは、年配の方はやっぱり、行動が遅いということ。そこも十分に気をつけていただきながら、消防団にあたり防災対策していただければと思います。以上です。

○村長（黒木 定藏君） 議長。

○議長（濱砂 恒光君） 村長。

○村長（黒木 定藏君） ただ今の1番議員のご主張を聞きまして、私からもお礼も申し上げたいと思います。実を申し上げますと、避難準備情報を出す前にもうすでにほとんどの方が避難をしていただいております。これは八重地区もですが、八重地区以外につきましても、地域の中で避難、防災に対する意識が非常に高まっているということは大変ありがたいことだと思います。これは、日頃からの地域コミュニティがしっかりしているということが起因しているというふうに思っております、まさにこれは、私たちの自慢のことだというふうにも思います。今回、八重地区の状況をつぶさに拝見させていただきまして、八重地区の皆さん、特に消防の皆さん、それからリーダー的存在の皆さんが、我が身を顧みずに各軒を1戸1戸回って、避難の要請をされ、また、支援をされました。これがやっぱり一番の助け合いの基だというふうに私も感謝を申し上げるところであります。今の本当に厳しい状況の中で、苦しい生活をされている訳であります、皆さん本当に前向きに物事に取り組んでいただいておりますことに、大変お力をいただいたところであります。行政といたしまして、できる限りのことをということで、担当課を中心に努めてまいりましたが、行き届かない点もたくさんあったらというふうに思います。これを機にですね、今後のいわゆる災害時に対する取り組みのマニュアルをしっかりと固めまして、住民の皆さんの命を決して失わない、その活動に努めてまいりたいと思います。何よりもけが人がいなかったことと、人命を失わなかったことが幸いであり、このことの一番の原因は、地域コミュニティの強さ、皆さんの相互扶助の精神の発揮にあったと感謝も申し上げたいと存じます。ありがとうございます。

○議長（濱砂 恒光君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 恒光君） これで質疑を終わります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 恒光君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから、議案第38号を採決します。お諮りします。本案は、原案のとおり可決することに、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（濱砂 恒光君） 異議なしと認めます。従って、議案第38号、令和2年度西米良村一般会計補正予算（第4号）については、原案のとおり可決されました。

以上をもって、本臨時会に付議されました案件の全てを審議終了しました。

これにて、令和2年第2回西米良村議会臨時会を閉会します。ご苦労さまでした。

○事務局長（土持 光浩君） 一同、ご起立ください。一同礼、お疲れさまでした。

午前10時4分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

議 長

署名議員

署名議員